



ゆずりはの森から

第150号
2015年10月6日発行



NPO法人
ゆずりは学園

- 小学生
- 中学生
- 高校生
- 大学生
- 社会人

ぐるりんバスに乗って38分 歩いて60分 国会議員薬師寺先生と要望書提出

10時25分子どもたちがバスから降りてくる時は、もう雨が降っていました。途中気分の悪い予が出たので、急ぎある会社に入り、トイレを借りました。寒いのも原因です。

いつもなら9時43分子どもたちが学園に着く時間、今日からは子ども達の声は聞こえませんでした。

11時20分過ぎ、走って来る子ども達、汗と雨で体は濡れています。「疲れた」と言っていて走っています。

学園に着いて、30分もするともうお昼ごはん。レポート学習、自分の勉強、友達との遊び。ゆづりする時間もなく、2時30分にはもう学園からバス停に向けて出発ということになります。学園にいる時間は正味3時間です。これは、朝早くからゆずりは学園に向けて頑張ってきた子ども達に短い時間

なります。2時間30分も短い学習の権利の迫害です。

午後、薬師寺みちよ先生と田原市役所に出向きました。15年この地に子ども達の居場所を構えています。「知らなかったのでは、なく、これからどうしていったらいいのかわからない」と多くの

潮の舞う海岸線を
『白谷海水浴場→仁崎→山ノ神』
60分かけて学園まで



人々と一緒に、子ども達を守っていかねければと思います。要望書を提出いたしました。「地域の人々の要望があれば」と答えてくれました。実際に子どもたちがこうして歩いていく地域交通会議の意味が私には分かりません。あまりにも現場を無視した、机上の会議のような気がします。この写真が今の実情です。

もう一度努力する方向を探す、 子ども達の学習の権利を守るために

今日も子ども達、生徒が歩く道の安全を確かめに行きました。この4キロと60分の通学路を調べています。調べているうちに、やはりそれでもあまりにも理不尽です。

学習の時間も2時間近く減らされ、その学習の時間の代わりに、バスの中でも時間が増え、それも田原駅から反対方向へと進むバスの中。やっとゆずりは学園の近くに来たと思ったら、3駅前で下車。海沿いを60分かけて歩く。今からは季節は秋から冬になります。津波の心配も当然考えて行かなければなりません。12年間バス停から徒歩3分のゆずりは学園でした。始発に乗って、このゆずりは学園まで3年間通ってきた生徒もいます。ゆずりは学

園は最後の居場所と通ってくる生徒子ども達。

それぞれの子ども、生徒の学習の権利仲間との時間の確保、いろいろなことがこんなに「コミュニケーション」の廃止によって、変わるのです。

もう一度子ども達を守る道はないのか、方法があるのではないかと思いましたが、陳情書ではない、まだ他の方法があるのではないか。

私達の学園を訪問した人が「もしこの学園を知っていたら、私もこの学園に通っていた」と言ってくれたことがあります。あきらめずにまた方法を探ります。不便さに倍の運賃を払う、経済的な問題と言いつつも子ども達にその負担を押し付ける、これではやはりおかしいです。

今日の中日新聞に掲載された若者社会復帰について私達の記事が掲載されました。

失効ポイント、若者社会復帰についてタイトルで、「はなまるポイントカード」の記事が掲載されました。こうした若者支援を始めて、15年目に入りました。不登校、高校中退、大学を卒業しても会社に就職出来なかったり、対人関係に苦しんだり、家族に居場所がなく、家出をする若者達もいます。

そんな中、ママさん、生きていて良かった、今思える」と電話が入りました。生きることは辛いです。この青年に寄り添って、10年近く経ちます。多くの壁や波や涙や笑いがありました。でも今回のように「生きていて良かった」と電話をしてきたのは初めてです。これでやっと私達のところから社会に出て行く日が来たのだと思いました。私が生きている間は、時々遊びに来ることもあろうが、この青年の紛れもなく、大きな社会の歩の日であったことは間違いありません。本当に良かったと思います。

東日本大震災 NPO法人 ゆずりは学園 5年目に入る震災支援

2014 [4年目]



- 1/13 ●衣類 宮城仮設住宅
- 2/16 ●野菜 福島仮設住宅
- 3/15・16 ●田原の道の駅さんの協力でキャベツ450ケース、ブロッコリー120ケース、お米900キロ、その他の野菜、果物130ケース 仮設住宅(宮城、岩手、福島)
- 4/23 ●布生地 福島仮設住宅
- 5/1 ●甘夏みかん 仮設住宅(宮城、福島)
- 5/10 ●夏みかん、タマネギ 福島仮設住宅
- 6/9～12 ●宮城、福島へ訪問支援(野菜、おもちゃ)
- 6/21 ●ミニトマト 福島仮設住宅
- 7/9 ●ドライフルーツ 福島仮設住宅
- 8/18 ●そうめん段ボール5箱(長仙寺・医王寺より) 福島仮設住宅
- 9/25 ●夏野菜 福島蓬萊若枝幼稚園
- 10/25 ●甘柿 福島蓬萊若枝幼稚園
- 11/21 ●キャベツ100個 福島仮設住宅
- 12/4 ●みかん段ボール(各)10箱 福島仮設住宅、福島さくらみなみ保育園



2015 [活動報告]



- 1/ 6 ●ミニトマト 福島仮設住宅
- 2/24 ●ふわふわソックス 福島仮設住宅
- 3/15 ●【支援物資】 ●キャベツ 530ケース ●ブロッコリー 60ケース ●その他野菜・果物 90ケース ●お米 650kg
- 【支 援 金】 162,859円(運送・宅配代に使わせていただきます)
- 【支 援 先】 ①福島県福島市 蓬萊仮設住宅 他仮設住宅(約1,100世帯)
- ②福島県南相馬市 牛越仮設住宅(約350世帯)
- ③福島県南相馬市 北町保育所・つよば保育園・聖愛保育園・八沢幼稚園
- ④宮城県石巻市相野谷 飯野川校仮設住宅(約70世帯)
- ⑤宮城県石巻市雄勝町 立浜仮設住宅(約20世帯)
- 6/13 ●梅2箱 福島仮設住宅
- 8/20 ●そうめん段ボール6箱(長仙寺・医王寺より) 福島仮設住宅

失効ポイント 若者社会復帰に



田原・ゆずりは学園「カード発行、利用を」

中日新聞(9月4日付)

自閉症・アスペルガー等の「発達障害」の子を持つ親の会
ゆずりはの会(165回)
○日時/10月9日(金) PM13:30～3:00
○場所/ゆずりは学園
(毎月第2金曜日 11/13・12/11・1/8)

ゆずりは学園事務局
〒441-3421 田原市田原町池の原15-3
TEL:0531(22)3515 FAX:0531(22)7761
e-mail:kutsuna_ike@yahoo.co.jp
http://www.yuzuriha-gakuen.com/
http://ameblo.jp/yuzurihaschool/
http://ameblo.jp/kutsuna-diary/

